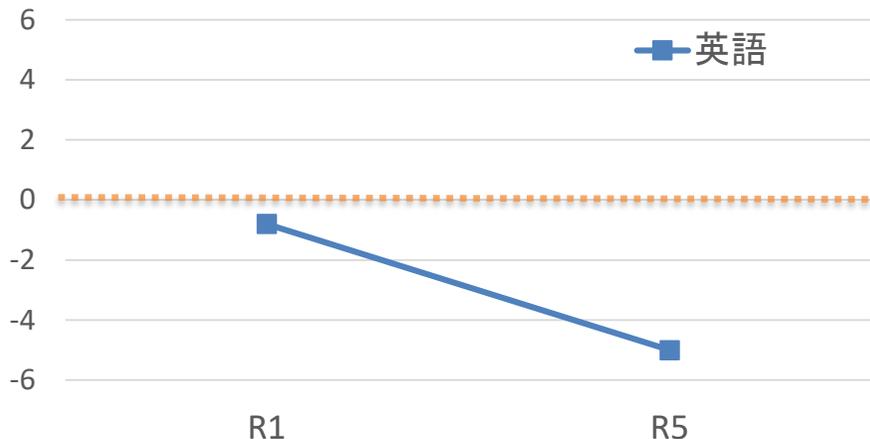


結果のポイント

1 全国平均との差の経年変化



▲全国平均を下回る。

2 領域別の結果

学習指導要領の領域	県	全国平均
聞くこと	53.3	58.4
読むこと	47.5	51.2
書くこと	19.1	23.4

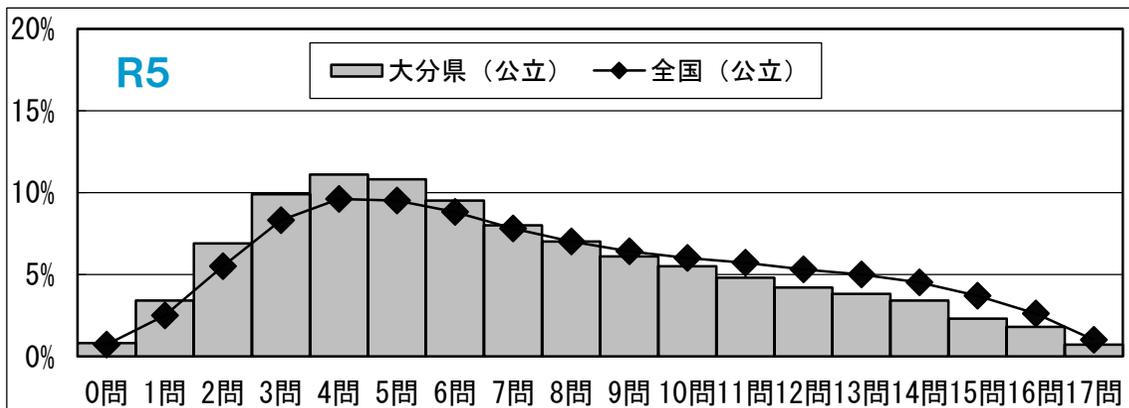
▲全ての領域で全国平均を下回る。

3 観点別の結果

観 点	県	全国平均
知識・技能	46.3	51.5
思考・判断・表現	35.5	38.8

▲「知識・技能」「思考・判断・表現」の観点で、全国平均を下回る。

4 正答度数分布



▲低学力層の生徒の割合(正答率20%以下)が全国平均より多い。
▲正答数が全国平均以上(7問以上)の生徒は全国値を下回る。

課題が見られた問題と指導の改善

正答率が低かった問題

大問7 (2) 【県平均正答率31.9% 全国平均正答率34.7%】
 日常的な話題について、短い文章の概要を捉える問題。

7 次の英文は、しおりさんが英語の授業で「町の図書館」について書いたものです。これを読んで、以下の問いに答えなさい。

Libraries today are more creative than in the past. The library in our town is more creative, too. We can do a lot of things there. We not only read books and watch DVDs at the library, but also enjoy events like book talks, puppet shows, and workshops about making picture books.

There are many kinds of spaces, too. (), people can read books on sofas, on *tatami* mats or in the library cafeteria. They can relax and read books anywhere. They can use small rooms for studying, meeting, or working.

Our creative library can connect people. One of my friends likes making picture books now after he joined a workshop at the library. He sometimes asks the library staff questions about making picture books by email even now. Also, while some kids are reading together on the *tatami* mats, their parents can become friends with each other.

I hope all of you visit our creative library in the near future.

(1) 英文中の () に当てはまる語 (句) として最も適切なものを、下の1から4までの中から1つ選びなさい。

- 1 Like this
- 2 For example
- 3 Then
- 4 Second

(2) しおりさんが書いた英文の概要 (文章全体の大まかな内容) として最も適切なものを、下の1から4までの中から1つ選びなさい。

- 1 The library in the town is more creative than before. We can do a lot of things there. There are many kinds of spaces, too. The library can connect people.
- 2 There are many kinds of spaces in the library. People can relax and read books anywhere. The library can connect people. We can ask the library staff questions.
- 3 The library in the town is more creative than before. There are many kinds of spaces. In small rooms, people can study or work very hard. The library can connect people.
- 4 The library in the town can connect people. We can ask the library staff questions. Parents can become friends with each other while the kids are reading together.

	解答類型	正答	県平均	全国平均
(1)	1		16.4%	15.1%
	2	○	57.4%	59.8%
	3		18.1%	16.8%
	4		7.9%	8.0%
(2)	1	○	31.9%	34.7%
	2		25.2%	25.3%
	3		26.4%	24.5%
	4		15.8%	14.7%

(1)「文と文の関係を正確に読み取る問題」の正答率は県平均57.4%となっているが、(2)「短い文章の概要を捉える問題」の正答率は県平均31.9%となっており、(1)と比べると(2)の正答率が低く、課題が見られる。

指導の改善

まとまりのある文章を最初から最後まで読み、意味のまとまりごとに英文を捉える。

(例) 諸外国の中学校生活を紹介している文章

- それぞれの情報の関係を示す接続詞に注目させながら、文章の流れを理解するためにキーワードを拾わせ、全体としての内容を数文の英語でまとめさせる活動を行う。

(例) 友人や教師が休日を過ごした中で感じたことなどのエッセイ

- 出来事を段落ごとに時系列で整理させ、どんな内容を伝えようとしているのかを、絵や簡単な英語で表現する活動を行う。

→ 読み取ったことについて、ペアやグループで生徒同士が考えを交流するなど、学習形態を工夫することも大切。

《読み取ることが苦手な生徒に対する指導》

- 読む前に、本文の内容に関わって生徒とやり取りしながら、文章のキーワードに気付かせる。
- 物語などを読む際には、話の展開に合わせて絵を並び替えさせる。
- 意味のかたまりごとに、英文にスラッシュを入れさせて読ませる。

課題が見られた問題と指導の改善

正答率が低かった問題

大問10【県平均正答率6.8% 全国平均正答率7.5%】
 与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書く問題。

10 あなたの学校では、学校の英語版ウェブサイトを公開しています。あなたは、そのサイトに学校紹介文を掲載することになりました。学校生活（行事や部活動など）の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それについて説明するまとまりのある文章を25語以上の英語で書きなさい。

解答類型	県平均	全国平均
正答の条件 ① 学校生活(行事や部活動など)の中から1つ取り上げている。 ② 紹介する内容を一貫性のある文章で書いている。 ③ 25語以上の英語で書いている。	6.8%	7.5%
正答例 Our school has a school festival in October. In the festival, we have a chorus contest and we practice hard to win the gold prize. Many people come to listen to our songs. [33 words]		
●正答の条件①、②、③を満たして解答しているが、コミュニケーションに支障をきたすような語や文法事項等の誤りがあるもの 誤答例 We have a school festival in October. It's a chorus contest and we want to win practice hard every day. Many people are come to listen to our songs. [29 words]	30.0%	30.9%
●正答の条件③を満たさないで回答しているもの	21.6%	21.5%
●無解答	22.6%	21.4%

指導の改善

① 与えられたテーマについて書くために、自分の考えをもつことができるようにする。

- 特に単元終末の言語活動において、自分の意見を書く活動を行う際、誰に対して、何のために書くのかを明確にして、生徒が書くための視点をもつことができるようにする。
- 書く前にテーマについてペアやグループでやり取りするなど、複数の領域を統合した言語活動を行うことで、書く内容を広げたり明確にしたりすることができるようにする。

② 伝えたいことを読み手に正しく伝えるために、語や文法事項等を正しく理解して書き表すことができるようにする。

- 書こうとする内容について、メモに書いたり表にまとめたりして情報を整理し、読み手に正しく伝えることができるようにする。
- 生徒が書いた文章について、最初から完全な文章を求めるのではなく、生徒自身が内容面、言語面の修正点に気づき、改善していくことができるようにする。